

1.教育目標

- 「いのちをだいじにする子」
- 「こころをだいじにする子」
- 「べんきょうをだいじにする子」

2. 目指す児童像（教育目標と児童の実態から）

- 「自ら考え、伝え合うことができる児童」
- 「自分を認め、相手を認めることができる児童」
- 「健康に関心をもち、体力を高めることができる児童」

3.目指す学校像

人権尊重の精神を基盤にし、主体的に学ぶ意欲をもち、日本の文化と伝統を尊重し、国際社会においても信頼と尊敬を得る心身ともに健康で、心豊かな児童を育成するため、本校の教育目標を踏まえて、以下のような目指す学校像を設定する。

- 児童にとって「頭も心も体もたくましく成長できる学校」
- 教職員にとって「教育の可能性を追求し、意識を高くもち続けられる学校」
- 地域や保護者にとって「教育活動に魅力を感じ、応援したくなる学校」
- ◎児童、教職員、保護者、地域の人々が「羽田小学校大好き」と思う学校

4.学校経営上の課題（「おおた教育ビジョン」2019年度～2023年度に基づいた課題の明確化）

本校の教育課題の重点は、児童に自尊感情と多様性を認める態度を定着させる教育を通して、未来において心身ともに健康で、主体的な思考・表現・創造を実践するなど、よりよく生きていくことができる資質を身に付けさせることである。この課題に対応するため、平成30・31年度東京都人権尊重教育推進校としての取組を存分に生かし、対話的な活動、協働的な活動を通して学力向上、体力向上、自尊感情の向上に繋げていく。

① 未来社会を創造的に生きる子どもの育成【未来】

- ・コミュニケーション能力
- ・論理的・科学的な思考力
- ・情報活用能力
- ・ともに生きる力
- ・健康増進・体力向上

② 学力の向上【知】

- ・基礎的な知識・技能
- ・思考力・判断力・表現力
- ・主体的に学習に取り組む態度

③ 豊かな心の涵養【徳】

- ・道徳性の涵養
- ・豊かな情操や感性の醸成
- ・主体性の育成
- ・保幼小中一貫した心の教育

④ 体力の向上と健康の増進【体】

- ・体力の向上
- ・スポーツに親しむ態度
- ・健康づくり
- ・基本的な生活習慣の確立
- ⑤ 魅力ある教育環境づくり【学校・教職員】
 - ・特色ある学校づくり
 - ・教員の指導力の向上
 - ・主体的・対話的で深い学び
 - ・学校組織の活性化
 - ・教育環境の整備
 - ・特別支援教育の充実
 - ・いじめ問題、不登校対策の充実
 - ・安全・安心の向上
- ⑥ 学校・家庭・地域が一体となつてともにすすめる教育【学校・家庭・地域】
 - ・地域とともにある学校づくり
 - ・安全・安心な学校づくり
 - ・家庭教育への支援
 - ・教育相談の充実
 - ・地域への愛着を育てる教育
 - ・図書館の整備と文化財保護

5. 学校経営上の目標と方策

(1) 中期的な目標と方策

- ① こころの教育の推進
 - ・人権尊重教育推進校としての日常的な取組の継続
 - ・国際理解教育、オリンピック・パラリンピック教育の推進に伴う環境づくり
 - ・望ましい生活習慣と規範意識の定着を目指した生活指導の充実
- ② 学力の向上
 - ・学習意欲の維持・向上を目指した授業内容・授業方法の改善・充実
 - ・基礎・基本を確実に身に付けさせるための学習環境及び家庭学習習慣の確立
 - ・身に付けた知識を活かして応用力を育てる問題解決的な学習指導の充実
- ③ 健康教育の推進
 - ・日常的に体力を高めようとする学校全体としての取組の推進
 - ・新体力テストの結果を活用した実態分析と体育指導の改善・充実
 - ・望ましい生活習慣を身に付けさせるための取組の拡充
 - ・オリンピック・パラリンピック教育に伴うアスリートを活用した取組の継続
- ④ 教職員の資質・能力向上
 - ・OJT、Off-JT を包括した教員の自己研鑽システムの構築
 - ・チーム学校としての組織を活用したプロ意識を高めるための取組
 - ・働き方改革の達成を目指した勤務時間の縮減及び自己管理能力の向上
- ⑤ 地域・保護者との連携、風通しのよい学校づくり
 - ・学校の発信力を生かした「開かれた学校」の取組の充実
 - ・「サポートHANE DA」との効果的な連携による地域資源の活用
 - ・防災活動拠点としての機能を活用した防災教育の充実

(2) 本年度の目標と方策

- ① こころの教育の推進

○人権教育の推進

- ・人権にかかわる年間指導計画の実践、学期ごとの見直し(カリキュラムマネジメントの観点から)
- ・全教科を通して児童に生命の尊さ、自他の人権を尊重する教育を推進
- ・地域活用カレンダーを基にした地域の教育資源(人的・物的)を活用した授業の実施
- ・東京都の「人権尊重プログラム」を活用した授業実践及び日常的な取組の充実

○特別の教科 道徳の充実

- ・道徳教育推進教師による模範授業参観及び「考える道徳」「議論する道徳」への授業改善
- ・道徳の評価に関わる長期的な観察による児童の変容の適切な見取り(2学期または3学期での評価)
- ・魅力ある道徳授業地区公開講座の開催と意見交換会の充実

○あいさつ運動の継続

- ・8時00分より全校の子どもがあいさつをして登校
- ・「羽小は心のオアシスサ」(オ:おはようございます ア:ありがとうございます シ:しつれいします ス:すみません サ:さようなら)
- ・校舎内でのあいさつの徹底(相手の目を見て、笑顔で挨拶)

○主体的に規範意識を高めるための取組・指導

- ・「羽田小学校10のやくそく」の掲示・随時啓発
- ・「忘れ物ゼロ、遅刻ゼロ」の達成者紹介による達成意欲の向上
- ・自分自身を守るための子どもに考えさせる安全指導及び安全点検の徹底

②学力の向上

○各教科・領域を通して基礎的・基本的な内容の定着と思考力・判断力・表現力の育成

- ・授業改善推進プランに基づく各教科における「主体的・対話的で深い学び」の充実
- ・計画的な朝自習及び反復学習の徹底による漢字検定合格率85%以上の達成
- ・自主学習を取り入れた「学年×10分+10分」の家庭学習の工夫・定着
- ・ステップ学習、チェックシートを有効活用した、1年生からの算数習熟度別少人数指導
- ・個人の学習カルテを活用しての三者面談の実施
- ・3年生以上週一回の放課後補習、全学年での年間6回の土曜補習教室及び各学年3日間の夏季休業中の補習教室(羽田っ子塾)
- ・国語科における読む力を育成するための機会確保(読書 音読 群読)
- ・発達段階に応じたノート指導の徹底(学年で統一)
- ・ICT機器を活用した授業改善及びプログラミング教育の推進

○国際理解教育の推進

- ・年間5・6年生55時間、3・4年生35時間の外国語活動、1・2年生8時間の大田区外国語活動の確実な実施、
- ・外国語教育指導員による英語カフェの開催・充実
- ・羽田空港における様々な方との交流活動の実施

③健康教育の推進

○体力の向上

- ・駅伝大会を視野に入れた、持久走、長距離の日常的な取組(朝のマラソンタイム・体育授業の帯時間)
- ・一校一取組運動に関わる特色ある体育プログラムの実施
- ・スポーツテストのデータ分析と指導の改善(持久力・投げる力)
- ・ゲストティーチャーから専門技術を習得(ヴィッキーズ)

○健康な体の育成

- ・体育・健康教育授業地区公開講座における食育授業の実施(食育リーダー)
- ・年間を通した「早寝・早起き・朝ごはん」の主体的な取組の工夫

④教職員の資質・能力向上

○教員の研修の活性化

- ・平成30・31年度 都の人権尊重推進校としての取組
(人権尊重教育に関わる研修会の実施 フィールドワーク)
- ・授業力の向上(授業観察時における主体的、対話的で深い学びのテーマ設定)
- ・週案を活用した見通しをもった指導計画(本時のねらい・活動の明記、意図的・計画的な指導の実施)
- ・服務事故防止研修及び人権尊重に基づく児童・保護者対応研修の毎月実施
- ・働き方改革の視点に立った教職員の自己管理能力の向上及び学校全体での校務改善方法分析
(時間設定による業務推進の効率化、業務量調査の実施、会議等開始・終了時間の遵守)

○個々の経営参画意識の高揚

- ・経営会議の週一回の確実な開催
- ・拡大経営会議の月一回の定期開催
- ・イントラネットを活用した分掌連絡システムの構築
- ・随時学校評価、随時改善の考え方による柔軟な学校運営
- ・柔軟な視点に立った分掌編成、学級編成(担任の単年度任期等)

○一人一人に向き合う教育の推進

- ・SC や関連諸機関と連絡・情報交換及び保護者との連携指導
- ・小中一貫教育の推進 (羽田中との連携)
- ・幼保小の連携 (弁天橋保育園、羽田保育園、アンジェ保育園、蒲田幼稚園との連携)
- ・生活指導部を中心とした問題行動への迅速な対応(生活指導連絡会の毎週実施)
- ・メンタルヘルスチェックの実施(6月、11月)、個別相談によるいじめゼロ、不登校ゼロ

⑤地域や保護者との連携

○自然災害対策

- ・学校防災拠点本部との連携、活用
- ・地域・保護者に対する周知

○地域の教育資源の活用

- ・「サポートHANEDA」コーディネーターとの定期連絡会
- ・「なでしこ会」(羽田小PTAのOB会)との連携
- ・交通安全運動等地域との連携
- ・羽田空港(国内線、国際線)ターミナルとの連携

○学校から発信

- ・ホームページの内容やブログの充実